This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

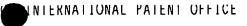
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

2002年 5月 / Him 16時04分



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-143557

(43) Date of publication of application: 26.06.1987

(51)Int.CI.

HO4N 1/17

(21)Application number : 60-284874

(71) Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22) Date of filing:

18.12.1985

(72)Inventor: UEDA KAZUYA

NAGAMINE KENJI

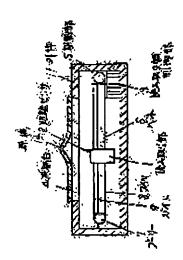
TAMURA AKIHIRO

(54) IMAGE READER

(57) Abstract:

PURPOSE: To read a bit of image information exactly by providing a distance sensor which detects a distance between a reading part and an original surface on an original blaten, and changing a reading pitch at the reading part in a subscanning direction corresponding to the distance between the reading part and the original

CONSTITUTION: In the titled device, the reading pitch in the subscanning direction at a reading part 1 in an original scan can be changed freely with a reading width control part 3. The distance between the reading part 1 and the original surface of an original 14 can be detected with a distance sensor 2 on the upper part of the reading part 1, and the reading speed control part 3 controls the reading pitch in the subscanning direction at the reading part 1 so that the original 14 and a bit of read image information are always coincided. In this way, even when a part of the original is apart from the original platen, the accurate reading of the bit of image information can be obtained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patentinumber]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision

Received at: 3:31AM, 5/7/2002

2002年 5月 /出口16時05分

LI INTERNATIONAL PATENT OFFICE

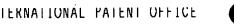
No. 943/ 2/P. 3/15

of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office





函日本国特許庁(JP)

①特許出顧公開

⑫公開特許公報(A)

昭62 - 143557

@Int,CI,4

識別記号

产内软理番号

④公開 昭和62年(1987)6月26日

H 04 N

z - 8220-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

公発明の名称

画像説み取り装置

创特 魔 昭60-284874

顧 昭60(1985)12月18日 **⊕**#

母発 眀 上 和 砂発 明 者 永 岑 鰵 = 彰 浩 田村 ②発 穷

門東市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 門頁市大字門頁1006番地 松下電器產業株式会社内

門冥市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

松下電器產業株式会社 砂出 関 弁理士 中尾 敏男 9代理

門真市大字門真1006番地

外1名

1、元明の名称

新在社み取り勤収

2、物件除水の販防

透明な原理やにある原稿の、実定変方向の画像 骨縄を扱み取る機能をはつ殺み取り却と、飛起機 み取り部を順稿台と水平に関定査方向に走査させ る機能を持つ駆動系と、解記使み取り即と原義台 上の原稿図との馳昂を検出する題際センテと、原 稿台上の原稿博と耽み取り部間題際に対応して製 ・走査方向の読み取りピッチを変化させる手段とを 備えたことを特徴とする医療院み取り装置。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分岐

本発明は、ファクシミリヤOCR等のように、 - 文章や図形等の西集情報を読み取る機能を持つ画 **み知み取り訪問に関するものである。**

住业の技術

近年、オフィスオートメーションの発達に伴い、 これまでキー入力中心であった文書作成システム

1

を、百条入力中心の文書作成シスチムに移行させ ようとする動きが出て来ている。

そのような文書作成システム協発の、文書や図 形等の画像僧師を入力する一手段として画像駅み 取り装置の弱免が進められている。

以下、西国を参照しなから従来の資産競み取り 益度の一例について戦闘する。

第2回、第3回は従来の蓄象数み取り論理の権 成を示すものであり、第2回は何紀従来の質量説 **み取り装置の新面面、ある団は苔色洗み取り装置** における彼み取り部の榊成を示すものである。

第2回において、4は鼠稿窗を密着させるガラ ス等の透明な原稿台、1は使み取り原稿の原稿面 の首任情報を読み取り延気信号に表摘する読み収 り部、5、6、7、8、9は奴配號み取り部を一 次元イメージセンサの主业扱力向に充交する創史 表方向に表行させる以前系で 5 はモータ等からな る延動節、9は読み取り都を一足方向に現行させ る為のガイド、8吐サイヤ、1吐ブーリー、6は ワイヤのたるみを吸収する動きをもつパネで、

-319-

特層取62-143557(2)

11は百世級の取り並且の外仰である。

第3回において12は原稿回を観明する景光灯 特の光源、15は経済された双稿度からの反射夫 を推光するレンズ系、 1 2 はレンズ系によって級 光された光学情報を発気性号に変換する数数の発 電差換量子からなるイメージセンタで、10は豚 盛である。

以上のように係成された画像飲み取り数数にお いては塩台(に田矛された原稿前の両を領報を経 み取る場合について説明する。

読み取り貸は第3回に示されるように、光解 12と、レンズ系15と、イメージセンサ13に よりなっている。

馬2回において、順稿台4に密考された原稿は 光瀬12によって風明され、寂起豚福留からの反 お光はレンズ系しるにより無元される。

この気光された反射光は複数の光電影機器子か ム山スイメージャンサースにより光電底後され、 原稿会の根み取り解稿の主走査方向の商権情報の 他み取りが行なわれる。

り、山は原務、山は原稿を発金に原稿台に密春さ せた場合の読み取り結果、回は原稿の一部を原稿 台に対して群して親み取った場合の親み取り結果 毛承している.

銭4回叫において、18は原稿、叫において 17 は頑撓台、18 は順額を財務台に密着させた 場合の読み取り結果、似において19は原稿の一 向を原稿台からはなした場合の読み取り妨果であ

問題点を解決するための手段

上記問題点を解決するため、本勢可の再像限み 取り記載は、取み取り部に読み取り部と原稿台上 の領域関との距離を検出する距離なソサを促け、 型に叙る取り顔の関連査方向の読み取りビッチを 数み取り値と原務節との距離に対応して原稿定式 中に型化させる磁能をもたせ、取積の両体情報を 正確に収み取ることができるようにするものであ

作用

木発明は上記した質像駅を取り装刃の埋み取り

又、姚2因において腕み取り邸」はモータ等の 駆動師5からの指令をワイヤ8を返して受け取り、 原鎌台4と水平な位置関係にあるガイド3に拾っ て原稿台4を副走査当向に赴査し原稿台4にある 原稿の頑体質報の戦争戦りを行う。

(例えば、石橋摩三、岡郎力也「蘭島高低輝泉、 処理の用途から需要がたちあがるイメージスキャ ナ」(1984、9、10号)日禄エレクトロニ 22. PIGI~1

教明が解決しようとする問題点

しかしながら世来の面在校み取り装載は、原稿 走査時において、焼み取り部の収益台に対する南 使者方向の競み取りピッチが何じであるので、茶 4 効にしめされるように以終个体を原稿をに密数 させることが爪虫がい路径(倒えば木、解除器) においては、緊痛者より膨れた相分の再位情報は 劇走査方列に圧縮されて収み取られ、以降と焼み 取った面像情報の結果が違ってくるという問題が

単4間(4)、(4)、(4)は上記した問題を示す間であ

能に限み取り組と展議会との原理部との影響を検 出する距離センサを設け、更に前脳膜み取り部の 劇史安方向のほみ取りピッチを除み取り品と質信 面との距離に対応して原稿地表中に変化させるこ とを可能にし、原稿の否集物料を定確に飲み取る ことが出来るようにするものである。

以下、本始明の一変施研の資産競み取り数数に ついて図面を見ながら説引する。

第1回は本発明における前径読み取り装款の排 成を示す関である。

第1回にないて1は原準台上の原準の製造情報 を読み取る飲み取り部である。

2は読み取り部から原稿台上にある原稿面まで の距離を測定する距離センテ、まは数を取り部の 副忠査方向の説み取りピッチを変化させる故み取 り幅制物館である。4は放鉄台、5は駆動図、9 はガイと、8はワイヤ、~はブーリー、6はパネ、 14は原稿、11は外枠である。

以上のように情感された関係院み取り装置に於

-320-

特爾吗\$2-143557(3)

いて、以下その作用を配置を見ながら覚明する。 毎1回において、原稿台4に先念に限殺できな い原稿(例えば木、雑誌等)しくを飲み取る場合 について殷明する。

従来例で述べたように使み取り部1は原稿分(にある原稿国を取明しそこから反射される資象情 祖を含んだ反射光を読み取る歯ををもっている。

花來の新他能み取り記載では収穫を査中の収み 取り部の耐走査方向の味み取りピッチはさだまっ ており、以底の一部が収穫合から思れている場合、 正確な可像情報の読み取りが出来ないという問題 があった。

しかしながら、本発明の西位統み取り装置は、 第1周に示されるように、原稿企光中に思る取り 郎」の蔚走変方向の読み取りピッチを、飲み取り 福期間削りにより自由に変化させることが可能に なっている。

この読み取り部1上部にある、距離センサ2に よって鉄み取り部Jと駅稿14の駅幕間との距離 そ検知し、常に原稿14と訳み取った画像情報が

歳み取り幅制御郎、4……展務台、5……駅動部、 6---パネ、7---プーリー、B----フイヤ、9 ……ガイド、11……外枠、14一…原稿。 代頭人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほかし名

同一になるように戦み取り退攻制御邸』が終み取 9部1の開走或方向の腹み限りピッチを制御し、 第4類似のような顕微鏡み取りをおこなった場合 でも男も図句のような正鵠な異像情報を読み取る ことができる。

発明の効果

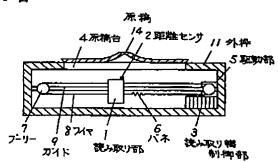
以上のように木気引は、両体統み取り監察の統 **や取り節に終み取り節と原稿台上の原稿間との距** 間を検出する距離センサを設け、更に側記読が取 り部の研究を方向の眺み取りピッチを映み作り部 と原稿面との距離に対応して収益完全中に製化さ せることを可能にし、原稿の耐発情報を正確に提 み取ることが出来るようにするものである。

4、関係の簡単な歴明

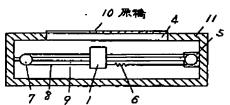
第1回は、本効明の一実能供における面像状态 取り監理の歯断制限、第2回は従来の画権裁み取 り染世の影新南風、奈き図は差末の智像焼み取り 袋屋のほみ取り部の製剤図、祭4回は乾束の解像 訳が取り装置の読み取り動作を示す模式図である。

し……沈み取り郎、2……距野センサ、3……

1 1 61



第 2 図



2002年 5月 /日 16時06分

INTERNATIONAL PATENT OFFICE

特局唱62-143557(4)



